

創部から四半世紀 京都西山高の少林寺拳法部

少林寺拳法の全国高校選抜大会(27、28日・岡山市)に、京都西山高(向日市)が過去最多の男女6種目で挑む。創部から四半世紀となる節目の年で、団体演武では女子が20年ぶり、男子が初の出場を決めた。部員14人のチームを引っ張る田中小夏主将は「全部の種目で決勝に進みたい」と目標を掲げる。

創部は2000年。国際大会の組演武で頂点に立った森川弘仁校長らが指導に当たる。高校から競技を始める選手が多く、岡田瑞穂顧問は「基本に忠実に。正確に技を出すことを大切にしている」と話す。

22年に男女共学となり、男子部員も増えて6人の団体演武のメンバーがそろった。副主将の奥田蓮さんは「後輩たちと一緒に印象に残る大会にしたい。男子の

最多6種目で全国へ

女団
子体
演武
は20
年ぶ
り初



全国高校選抜大会に向けて練習に励む少林寺拳法部の選手たち(向日市・京都西山高)

歴史も次につないでいきたい」と意気込む。

選抜大会には団体演武の他、自由組演武の女子に田中・田淵友佳理組、男子に奥田・中崎翔瑛組が出場。規定演武では女子組の森島朱梨佳・伊藤悠海組、男子

単独の松下悠人さんが挑む。田中主将は「少林寺拳法では他校のチームを応援し合える文化があると思う。勝ち負けも大事だが、自分がやってきたことをどれだけ出せるか」と大会を心待ちにする。(後藤創平)